

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-2	3-2-1	事業名	高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業			
担当	保健福祉局総務部総務課 井上 211-2932						
全体計画							
事業内容	判断力が低下した高齢者や障がいのある方が金銭管理などの日常生活に支障や不安を感じた際に、安心して相談できるよう、社会福祉協議会で実施している4相談事業(地域福祉権利擁護事業、福祉サービス苦情相談、高齢者虐待相談、障がい者あんしん相談)の一体化を図り、成年後見制度も含めた総合的な窓口を開設する。また、市長申立制度を利用する方の迅速かつ安定的な成年後見人の確保を図るため、社会福祉協議会が法人後見業務を開始する。			<年度別の事業内容>			
	1 総合相談窓口の開設(仮)日常生活あんしんサポートセンター(平成20年10月予定) 2 法人後見業務の実施(平成20年10月予定)			1 平成19年度 (1) 総合的な相談窓口である(仮)日常生活あんしんサポートセンターの開設に向けた検討を実施。 (2) 法人後見業務の開始に向けた検討を実施 2 平成20年度以降 (1) (仮)日常生活あんしんサポートセンターの設置 (2) 法人後見事業の実施			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	1 地域福祉権利擁護事業 (1) 実契約件数 180件 (2) 年間相談件数 8,632件 (3) 支援窓口 6ヶ所 (4) 専門員 6人配置 (5) 地域生活支援員 312人 (6) 地域生活支援員一人あたりの平均訪問時間 年55時間 2 福祉サービス苦情相談 相談件数 321件 3 高齢者虐待相談 相談件数 57件 4 障がい者あんしん相談 相談件数 1,844件			これまで実施していた地域福祉権利擁護事業、福祉サービス苦情相談、高齢者虐待相談、障がい者あんしん相談に成年後見制度に関する相談も加えて、判断力の低下した方々の窓口として、「(仮)日常生活あんしんサポートセンター」を10月に開設する。 判断力が低下した高齢者や障がいのある方の権利擁護のため、社協が法人として法定後見人を受任し、法定後見業務を行う法人後見業務を開始する。平成20年度は5人の後見を行うことを見込んでいる。			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
総合的な相談窓口の設置		検討	検討	設置			設置(20年度)
社会福祉協議会の法人後見事業の実施		検討	検討	実施	実施	実施	実施(20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [情報協力] 民間で成年後見制度をバックアップしている機関等と連携し、相談者の判断力や親族の有無等の状況に応じた適切な対応や法定後見を行っている機関を紹介する。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 社協は、法律で規定された公的な法人であり、親族や財産がない場合でも速やかな法定後見人確保が可能となっている。また、福祉サービスの利用援助等、被後見人のニーズに即した後見が可能である。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-1-2	3-2-1		事業名	高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業		
評価(成果)			課題				
<p>社協で実施している4相談事業の一体化と法人後見事業について平成20年10月の実施に向けて社協及び関係部局と検討を行った。</p>			<p>10月に既存の相談事業を統合し、(仮)日常生活あんしんサポートセンターの開設と法人後見事業の開始を予定していることから、以下の課題について社協や関係部局との間で検討・整理が必要となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の普及・啓発のためのPR方法 ・後見人の円滑な選定のための検討会議 ・後見業務に関する相談、情報共有の場の設置 ・利用者が適切なサービスを利用できるような実施体制の確立 				
今後の事業の予定・方向							
<p>(仮)日常生活あんしんサポートセンターの開設と法人後見業務の実施に向けた準備を進めるとともに、実施後も相談窓口の利便性向上と法定後見人の迅速かつ安定的な確保を図ることで、高齢者や障がいのある方が安心して地域で生活できるよう支援していく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	47,447	62,447	59,567	55,539	225,000	
	財源内訳	国・道支出金	25,713	25,569	25,569	25,569	102,420
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,734	36,878	33,998	29,970	122,580		
予算	事業費	47,447	51,871	-	-	99,318	
	財源内訳	国・道支出金	28,025	28,052			56,077
		市債	0	0			0
		その他	723	727			1,450
一般財源	18,699	23,092			41,791		
実績	事業費	46,756	-	-	-	46,756	
	財源内訳	国・道支出金	25,407				25,407
		市債	0				0
		その他	718				718
一般財源	20,631				20,631		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				43.8%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
全体							
[19年度]							
[20年度]							